

第17次経営計画

2018年度～2020年度(3ヶ年)



名工建設株式会社

名工建設 企業憲章

社訓 誠実

和して同せず

企業理念

私たちは安全第一を旨とし、お客様の満足が得られるものを誠実の心と先端の技術力でつくりあげ、未来に夢と希望を託せる働きがいのある企業を目指すとともに、社業の発展を通じて広く社会に貢献します。

行動規範

1. 安全第一

労働安全・鉄道安全の確保を最優先します。

1. コンプライアンス

法令、社会規範、社内ルール等を遵守し、公正、透明で良識ある企業活動を実践します。

1. より良い建設物の提供

多様化する顧客、社会的ニーズに応えるため、先端技術の駆使・技術開発・品質管理を通じて、より良い建設物を提供することにより、健全な会社の発展に努めます。

1. 環境保全

環境保全への取り組みを推進し、良好な環境の創出に寄与します。

1. 社会秩序の保持

市民社会の秩序や安全・安心に脅威を与える反社会的勢力団体とは一切の関係を持ちません。

1. 社会とのコミュニケーション

顧客、株主、取引先、地域社会との円滑なコミュニケーションに心がけ、適時適切に情報を開示し、風通しの良い企業風土を醸成します。

1. ゆとりと豊かさを求めて

職場環境の整備、労働条件の改善を図り、ゆとりと豊かさを実感できる仕組みづくりに努めます。

第17次 経営計画

目 次

1. はじめに…………… ①

■ 第16次経営計画を振り返って

■ 第17次経営計画に向けて

2. 第17次経営計画の目標…………… ③

3. 重点課題と取り組み…………… ④

参 考 資 料

・ 第16次経営計画総括…………… ⑧

1. はじめに

■第16次経営計画を振り返って

第16次経営計画では安全管理体制の強化に取り組んできたが、2015(平成27)年度に新幹線での保守用車脱輪や在来線での限界支障等の運転事故が発生した。改めて2016(平成28)年度より

- ・ 当社企業憲章における『安全第一』の理念教育による安全意識の醸成
- ・ 『安全のための本質を探究する運動』の更なる推進
- ・ 工事の各段階におけるリスク排除を徹底するための取り組みの推進

の3項目を中心に対策を進めてきており、こうした考え方が定着しつつあり、顧客の信頼も回復してきている。

鉄道関連工事では、営業線のメンテナンス工事に加え、「新幹線脱線・逸脱防止対策工事」や、更には「新幹線大規模改修工事」を実施することとなったが、要員需給が厳しい状況の下、全社を挙げて施工体制を整備して取り組んだことにより、これらの工事も確実に進めることができた。

また、中央新幹線建設工事についても、品川ターミナルの駅部工事を始めとしてその施工に参画することができた。

官公庁工事では総合評価方式の企業評価点向上等受注確度を高めるための様々な取り組みを行い、利益率の高い工事を受注できており、資格要件に必要な工事実績の確保についても達成できている。

民間建築工事では特命受注を増加させることができ、同時に事務所・工場・商業施設など非住宅部門の受注が増えたことで、バランスのよい受注の拡大につながりつつある。

また、特命受注が増え、設計・施工案件が増えたことにより、適正な利益の確保にもつながっている。

全体としては、すべての役員・社員が経営目標に真剣に取り組んだ結果、第16次経営計画の期間中に受注・売上・経常利益率の全てにおいて数値目標を大きく上回る成果を残すことができた。安全面では反省すべき事故を生じさせたものの、現在進めている安全対策が定着しつつある。

■第17次経営計画に向けて

第17次経営計画においてはこれまでの経営計画の方針を踏まえつつ、安全をはじめとしたすべての目標においてワンランク上を目指し、質の向上に取り組むこととする。

安全への取り組みについては、重篤な労災や運転事故は減少しつつあるが、重大な事故に繋がりがねない事象は発生している状況であり、「安全最優先の企業風土の定着」に向けて安全に関わる諸施策を経営計画の中心に据えて取り組むこととする。

鉄道関連工事については、メンテナンス工事に加えて、引き続き「新幹線大規模改修工事」や「新幹線脱線・逸脱防止対策工事」について施工体制を整備しつつ確実に施工する。

中央新幹線建設工事についても受注工事を確実に施工するとともに、今後発注されるインフラ工事やガイドウェイ製作工事についても各工事の内容や工事要員の推移を見ながら受注の検討を進める。

官公庁工事については、引き続き総合評価方式で優位に受注できるように企業評価点の向上に取り組んで選別受注を進めるとともに、民間工事についても特命受注率を高めるとともに、住宅系・非住宅系の受注バランスにも留意する。

第17次経営計画の期間(2018~2020年度)において予定されている消費税増税や2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピック以後の建設環境の変動にも柔軟に対応しつつ、各部門において効率的な要員配置に取り組むとともに、様々な工夫をして省力化を図り、目標数値を確保する。

併せて、企業の持続的成長を目指すために、中長期的な要員確保に向けた採用計画を継続して実行するとともに、人材育成のための教育等を更に充実させることとする。

また、建設業界でも盛んに提言されている「働き方改革」にも継続して取り組むこととし、掲げた具体的な目標を達成することとする。

2. 第17次経営計画の目標

次のとおり経営目標を定める。

◎ 経営目標

経営目標 1. 安全最優先の企業風土の定着

経営目標 2. 長期にわたるプロジェクトの確実な施工

経営目標 3. バランスのとれたゼネコンとしての総合力の強化

経営目標 4. 持続的成長を目指す経営基盤の強化

◎ 数値目標

重大な労働災害・鉄道運転事故 …………… ゼロ

受 注 高 …………… 850億円以上

売 上 高 …………… 850億円以上

経常利益率 …………… 4.5%

◎ 目指す企業像

「安全と技術の名工」「社員が誇れる企業」

3. 重点課題と取り組み

【経営目標1】安全最優先の企業風土の定着

重点課題	取り組み
▶ 事故を発生させない企業風土の定着	
<ul style="list-style-type: none">•すべての役員、社員、工事従事者が高い安全意識を持ち続けるため、名工建設企業憲章における「安全第一」の理念教育を継続実施する。•すべての工事関係者が基本ルールの本質を理解し、危険感受性を高め、危険敢行行動を無くすため、「安全のための本質を探究する運動」を更に推進し、安全について「考える」企業風土を醸成する。•工事の各段階で「リスク排除」を徹底するための取り組みを更に強化し、事前に危険の芽を摘み取る意識を定着させる。•工事従事者個々の安全意識と行動力を高めるために、安全に関するパネル・映像の活用や社内外の講習会・発表会等への積極的参加を通じ安全教育を充実させる。	

【経営目標2】長期にわたるプロジェクトの確実な施工

重点課題	取り組み
▶ 新幹線大規模改修工事	
<ul style="list-style-type: none">•新幹線大規模改修工事「Ⅱ期工事」(2016～2019年度)及び「Ⅲ期工事」(2020年度以降の計画)に沿って確実に施工していくこととし、更に施工個所の調整等を行って、より効率的な施工に努める。•工事を安全かつ確実に実施するため、引き続き全社を挙げて施工体制を整備する。	
▶ 新幹線脱線・逸脱防止対策工事	
<ul style="list-style-type: none">•新幹線脱線・逸脱防止対策工事「Ⅱ期工事」(2018～2019年度)及び「Ⅲ期工事」(2020年度以降の計画)に沿って工事を確実に進める。•ガード脱落防止対策についても的確に対応することとし、工事全体を通して効率的な施工に努める。	
▶ 中央新幹線建設工事	
<ul style="list-style-type: none">•既受注工事を確実に施工するとともにインフラ整備工事やガイドウェイ製作工事については、個々の発注件名の内容を精査して受注に努めることとする。	
▶ その他のプロジェクト	
<ul style="list-style-type: none">•北陸新幹線建設工事(金沢～敦賀間)については、既受注工事を確実に施工する。•2020年度から始まる北陸新幹線軌道新設工事について、新設線建設の技術力維持の観点からも参画を検討する。	

【経営目標 3】 バランスのとれたゼネコンとしての総合力の強化

重点課題	取り組み
▶官公庁工事の競争力向上	<ul style="list-style-type: none">•企業評価点向上策をはじめとして総合評価方式への取り組みを継続し、工事の効率性・採算性・特殊性を見極めながら受注し、安定的かつ持続的に収益基盤を確保する。•技術力向上や継続受注に繋がるような工事实績の蓄積を図る。
▶民間建築工事の採算性向上	<ul style="list-style-type: none">•民間建築工事を継続的かつ安定的に受注して採算性を向上させるため、選別受注を進めるとともに新規開拓など営業力強化による顧客基盤の拡充やコスト競争力強化による特命率アップを図る。•省エネ技術の提案力向上等の基本となる技術力(設計・施工)の強化を図る。•SMIC事業については、製造コストの圧縮や営業範囲の拡大により需要を開拓しつつ安定的に一定の売上を確保する。
▶品質向上、技術継承、技術開発の推進	<ul style="list-style-type: none">•更なる品質向上を図るため、「品質の見える化」の取り組みを着実に実施するとともに、これに必要な技術的な教育・指導を継続して行う。•顧客ニーズの把握に努め、既成概念にとらわれない発想によって技術改良や開発案件を見出し、技術者としての専門知識をもって積極的に推進する。•作業の省力化・効率化と安全の確保につながる技術開発の推進を図る。
▶成長戦略の展開	<ul style="list-style-type: none">•NETIS等を活用して新技術の導入に取り組み、実施工を通じて、技術力の維持向上に取り組む。•鉄道営業線のメンテナンス工事、立体交差部分での非開削工法やトンネル裏込め注入工事(ネオグラウト工法)等で培った技術力を基に、官公庁工事や民間工事への参画を図る。•現在実施中の海外プロジェクトへの技術支援に続く事業分野での参画を検討する。

【経営目標4】 持続的成長を目指す経営基盤の強化

重点課題

取り組み

▶ 中長期的な要員の確保と定着

- 鉄道関連工事・官公庁工事・民間工事の中長期的な完成工事高を念頭において、これらの継続的な施工に必要な要員を確保するため、要員計画に基づく採用活動を行う。
- 女性社員を継続して積極的に採用し、現場を含め様々な職域で活躍できるよう全社で支援する。
- 技術系有資格者を確保する観点から、シニア制度の見直しも含め、ベテラン社員のキャリア・知識の更なる活用策を実施する。
- 若年層サポート制度、役員・社員ミーティングの実施等により、社員の定着を図る。

▶ 人材育成の強化

- 現状に安住せず、自ら考え行動し会社の発展に貢献できる優秀な社員を育成する。
- 定期的なジョブ・ローテーション(要員配置等の運用)により、社員のキャリア形成と組織の活性化を図る。
- OJTに加え社員個々の能力向上に繋がる教育・研修を計画的に実施する。
- 昇格時等階層別の定期的な教育・研修に加えて、適時的確な教育・研修を行えるよう、eラーニング等のツールを積極活用する。

▶ 効率化の推進

- 施工体制の維持に的確に対応するため、効率的な要員配置を実施する。
- CIMやBIMなどのツールを活用して関係者間で情報共有化を図ることにより、業務の効率化・高度化を図る。
- IoTなどの情報通信技術を視野に、工事書類整理や顧客との打合せ等により効率化を推進する。
- 事務部門の業務内容を常に見直し、効率化を推進する。

▶ ワーク・ライフ・バランスの推進

- 企業理念にある「未来に夢と希望を託せる働きがいのある企業」の実現に向け、役員・社員が一丸となってワーク・ライフ・バランスの推進に本格的に取り組むこととする。

▶コンプライアンス教育の実施とリスク管理

- 昨今の状況を十分に踏まえ、講習会等のコンプライアンス教育を継続して実施するとともに、懸念事項も含め社内情報の的確かつ迅速な収集を図り、初期段階から対処できるようリスク管理を徹底する。
- 内部統制を一段と充実させるとともに、不正・不適切行為など法令遵守違反が発生しないよう各種施策を実施する。

▶広報・情報開示の充実

- IRセミナーへの参加や広報活動の充実により、対外的に「名工ブランド」の認知度を高める。
- 上場会社として、コーポレートガバナンス・コードの適切な深度化を実施するとともに、内部統制の充実に取り組む。

▶CSR活動とBCP体制の強化

- 品質・環境マネジメントシステムを的確に運用し、品質向上・環境保全を図り、また建設副産物の適正処理を進める。
- 複数の災害想定に基づく事前訓練を実施してBCP体制の強化を図る。

▶環境変化に対応した業務執行体制の構築

- 組織・業務執行体制については、当社を取り巻く環境の変化に柔軟に対応する。
- JR東海の在来線工務関係組織の再編に対応すべく、常設事務所の業務の効率及び経済性を考慮した移設・増設・廃止等を実施する。

▶連結子会社の事業強化と人材育成

- 連結子会社の事業を強化するとともに、中堅層の人材育成を図るため、グループ会社との人事交流を図る。
- コンプライアンス教育やリスク管理等は子会社も含めグループ全体で推進する。

参 考 資 料

第16次経営計画総括

《数値目標》

受注高	800億円以上
売上高	800億円以上
経常利益率	3.0%

《1年目：平成27年度（第75期）》

	目 標	実 績	主 な 出 来 事
受注高(百万円)	81,000	91,508	<ul style="list-style-type: none"> ・ JPタワー名古屋完成 ・ リニア「品川駅新設(北工区)」工事参画 ・ 新幹線大規模改修工事第Ⅱ期工事受注 ・ インドネシア都市高速鉄道業務援助契約 ・ 愛知県総合工科高等学校建設工事完成
売上高(百万円)	88,000	91,642	
経常利益(百万円)	2,500	5,356	
経常利益率	2.8%	5.8%	

《2年目：平成28年度（第76期）》

	目 標	実 績	主 な 出 来 事
受注高(百万円)	81,500	89,110	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線加賀温泉駅高架橋他工事受注 ・ 国道151号太和金トンネル建設工事完成 ・ えちぜん鉄道福井駅他2箇所新築工事受注 ・ 清須市本庁舎増築・改修工事完成 ・ えちぜん鉄道軌道敷設工事受注
売上高(百万円)	86,000	89,120	
経常利益(百万円)	2,700	5,096	
経常利益率	3.1%	5.7%	

《3年目：平成29年度（第77期）》

	目 標	実 績	主 な 出 来 事
受注高(百万円)	82,500	83,356	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線福井開発高架橋受注 ・ 熱田駅構内B○新設工事完成 ・ 尾張北東地区特別支援学校建築工事受注 ・ あいち航空ミュージアム建設工事完成 ・ 新所原駅改築工事完成
売上高(百万円)	89,500	88,421	
経常利益(百万円)	3,400	5,911	
経常利益率	3.8%	6.7%	

名工建設株式会社

<http://www.meikokensetsu.co.jp/>



第17次経営計画

制定 第10回取締役会(平成30年1月29日)

編集 第17次経営計画策定委員会